

電源立地地域対策交付金により造成した基金の公表

基金の名称	共和町電源立地促進対策交付金施設維持基金
平成30年度基金造成額（交付金相当額）	—
平成30年度末残高（交付金相当額）	190,007,366（190,007,366）
基金事業の概要	<p>下記に記載の基金対象施設が次のいずれかに該当する場合の修繕その他の維持補修に要する経費の資金として積み立てる。</p> <p>①公共用施設が災害や老朽化等により機能を十分に発揮できなくなった場合、施設を原形に復し、若しくは低下した価値を回復するための維持補修又は当該施設と一体的に整備した備品の更新</p> <p>②現状のまま放置すれば老朽化等によりその機能を十分に発揮できなくなるおそれがある場合</p> <p>※対象施設（又は事業）</p> <p>町道殖民線・町道八万線・町道ビシヤムナイ線・町道中の川線・町道国富北線・西部住民センター・町道小沢公住線・町道第二西老古美線・町道小谷地線・町道第三発美線・町道辰五郎原野線・町道金袋線・発美排水路・町道ヤエニシベ線・発足診療所・共和町町民会館・共和町野球場・小沢体育館・町道ワクンベツ拓美線・防災行政無線施設更新・共和町火葬場・小沢診療所・町道第三ヤチナイ線・小沢地区住民センター・前田診療所</p>
基金の処分期間	施設が存続する期間
基金事業の目標	災害や老朽化等により、その機能を十分に発揮できなくなった、又は、その恐れがある公共用施設を修繕・更新し、原型復旧させることにより、公共用施設の機能低下を防止し、利用者の利便性向上を図る。

基金の名称	共和町電源立地交付金公共施設維持基金
平成30年度基金造成額（交付金相当額）	—
平成30年度末残高（交付金相当額）	185,000,027（185,000,027）
基金事業の概要	<p>共和町の公共用施設が次のいずれかに該当する場合の修繕その他の維持補修に要する経費の資金として積み立てる。</p> <p>①公共用施設が災害や老朽化等により機能を十分に発揮できなくなった場合、施設を原形に復し、若しくは低下した価値を回復するための維持補修又は当該施設と一体的に整備した備品の更新</p> <p>②現状のまま放置すれば老朽化等によりその機能を十分に発揮できなくなるおそれがある場合。</p>
基金の処分期間	施設が存続する期間
基金事業の目標	災害や老朽化等により、その機能を十分に発揮できなくなった、又は、その恐れがある公共用施設を修繕・更新し、原型復旧させることにより、公共用施設の機能低下を防止し、利用者の利便性向上を図る。